

第3次戸田市子どもの読書活動推進計画「子どもの読書活動推進のための方策」における各関係課の該当状況

(令和4年度実績)

No.	関係部署	基本方針1～4の該当の有無			
		基本方針1	基本方針2	基本方針3	基本方針4
1	生涯学習課	p. 4	—	—	—
2	教育政策室	p. 5	p. 26	—	p. 38
3	障害福祉課	p. 5	—	—	—
4	こども家庭支援室	p. 6	—	—	—
5	保育幼稚園課	p. 7	p. 26	p. 33	p. 38
6	児童青少年課	p. 8	p. 27	p. 33	—
7	図書館	p. 9-23	p. 27-31	p. 34-36	p. 39 - 40

基本方針1 発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供と充実

子どもが読書に親しむには、子どものあらゆる生活場面において、本を楽しむ時間を取り入れるための積極的な働きかけが必要です。これらは年代を超えて一律に実施できるものではないことから、0～18歳までを「乳幼児期」、「小学生期」、「中学・高校生期」の3期に分け、その発達段階に応じた施策を実施することで、より実効性のある施策を実現できると考えます。

(1) 施策1 乳幼児期における読書活動の推進

親が愛情いっぱいの語りかけをしたり、遊びを通じた様々な体験をしていくことで発達を促す時期であることから、特に「家庭での読書の習慣化」に繋がっていく取組が必要です。なお幼児期は集団生活を経験する中で、家族以外の人や動植物などとの関係を作りながら、好奇心、自立性、思いやり等を学んでいきます。

●方策1 本との出会い

妊娠期からの読み聞かせの啓発や赤ちゃんを対象としたブックスタート事業の拡充のほか、乳幼児を対象とした図書館司書やボランティアグループの読み聞かせ等による本との出会いの場をつくります。また、これらを様々な場所で展開できるよう、関係機関との連携に努めます。

●方策2 本との触れ合い

市内の様々な公共施設等において、絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居などを継続的に取り入れ、乳幼児が本と触れ合える機会をつくります。

●方策3 親子で本を楽しむ

市内の様々な公共施設等において、絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居などを継続的に取り入れ、乳幼児とその保護者に参加してもらう講座等を実施します。また保護者が読み聞かせ等を自発的かつ継続的に行えるように絵本の選び方や読み聞かせの方法を学ぶ講座等を開設します。

●方策4 保育園等における取組

子どもは保育士等が読む絵本や紙芝居を通して、想像力を育み、豊かな言葉を心の中に取り込んでいきます。保育園等は、図書館と連携して子どもの発達段階に応じた図書を選定することが望まれます。また地域のボランティア等と連携し、子どもが絵本や物語に親しむ環境の整備を図ります。また保護者に対し、家庭での読み聞かせの重要性や読書の喜び等を知ってもらう取組を行います。

(2) 施策2 小学生期における読書活動の推進

小学校低学年では読み書きができるようになってもしっかりと読む習慣を身に付けることが重要です。また小学校中学年では絵本から文字や活字への移行の時期に当たり様々な本に出会うことが重要です。さらに小学校高学年では語彙も豊かになり想像力も大きく発達する時期に当たり個性や関心に応じた読書指導、読んだ本の他者との共有などが重要です。したがって、以下のとおり小学生期を3つの年代に分け、それぞれの年代に合った読書活動の推進を図り、児童が読書習慣を身に付けることができるよう努めます。

●方策1 小学校低学年 ～本を楽しむ～

読み書きできるようになってもしっかりと読む習慣を身に付けることが重要です。家庭や学校では絵入りのやさしい読み物等を楽しんで読む習慣を身に付けられるよう取り組むことも必要です。学校図書館や市立図書館で本の探し方や図鑑の読み方などを教える講座等の実施に努めます。

●方策2 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～

ひとり読みもできるようになり、読書の量と範囲を広げることが重要です。物語だけではなく、伝記、科学、歴史など幅広い領域の本や、地域の資料などを収集し、自分で調べる学習に役立てる力を育めるよう取り組むことも必要です。学校図書館や市立図書館での分類の仕組みや辞書の引き方、本の構成などを教える講座等の実施に努めます。

●方策3 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～

個性や関心により本の好みが一層強くなる時期なので、フィクションもノンフィクションも、社会科学も自然科学も、多様で広く深い領域にわたる本の紹介が重要です。また子どもたちそれぞれの個性や関心に応じた読書指導が必要となります。自分の読んだ本の紹介や高学年から低学年への読み聞かせ等を行うことにより、読む力、話す力を高めるだけでなく、本の理解を深めることができます。

●方策4 読書の習慣化と学校図書館の活用

学校における「読書の時間」の充実のほか、本好きサポーターやボランティア等による読み聞かせやブックトーク等の実施に努めます。読み聞かせボランティア参加の呼びかけや本好きサポーターの計画的な配置に努めます。また学校の授業に学校図書館を積極的に活用できるよう努めます。

(3) 施策3 中学・高校生期における読書活動の推進

中学・高校生期には、様々な理由から読書離れが進む傾向にあります。しかし、自分の生き方、将来等を考えはじめ、自立性が大きく育つ時期でもあることから、中学・高校生期の読書は非常に重要です。より多くの本に触れることができるよう、読書の機会を増やす方策の推進に努めます。また読書が自己実現につながるよう、自主的な読書を尊重しつつ、必要な時は高度な専門知識等も情報提供できるよう、家族や周囲の人は読書環境を支えていくことが必要です。

●方策1 本に親しむ機会の提供

市立図書館では「戸田市中学生社会体験チャレンジ事業」で積極的に受け入れ、生徒が市立図書館を更に活用しやすくなるよう努めます。また、学校と連携し、図書委員会へ働きかけ、POP展示など、生徒の様々なアイデアを活かした読書活動推進の事業に取り組みます。

●方策2 学校図書館・市立図書館の利用の促進

生徒が資料を活用して学習することを推進し、学校図書館や市立図書館の利用につなげるために、学校図書館ではテーマ展示や印刷物の作成、市立図書館では図書資料提供や資料相談による授業支援等の充実を図ります。

【生涯学習課公民館担当】

事業名	子育て講座①絵本の読み聞かせ	
事業内容	下戸田公民館の講座で、幼児・小学生(低学年)の親子を対象とした内容。絵本の読み聞かせや紙芝居などを月2回実施。絵本や紙芝居に親しむことにより、絵本等を読む習慣を養う。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和4年度の実績	11回実施 延べ参加者 45人(大人 22人、子供 23人)	
令和4年度の所感	下戸田公民館は新型コロナウイルスワクチン接種会場になったため12月は未実施のため、全11回の開催となったが、参加者達は和やかな雰囲気、楽しんでいる様子だった。	
令和5年度以降の展開	「自宅にない本を読んでもらって良かった」、「いつもよりもしっかりと聞いていた」などの感想があり、親子の交流を深める意味でも貴重な体験であったと思われる。今後も、感染症対策を行いながら、継続する方向で考えていきたい。周知方法も検討し、多くの方に参加してもらえよう取り組んでいきたい。	

【教育政策室】

事業名	本好きサポーター(戸田市学校図書館図書整理員)の配置	
事業内容	市内各小・中学校に本好きサポーターを配置する。司書教諭と連携して、図書の管理や整理、読書活動の充実を図る。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 4	《小学生期における読書活動の推進》 読書の習慣化と学校図書館の活用
令和4年度の実績	市内各小・中学校、全18校に1名ずつ配置。	
令和4年度の所感	本好きサポーターの配置により、学校図書館の環境整備がされ、児童生徒の読書活動が推進されている。また、司書教諭等と連携し、授業での学校図書館の利用や委員会活動の活性化を図り、利用しやすい学校図書館となっている。今後は1人1台端末環境における学校図書館の学習センター、情報センターの機能の充実について検討していきたい。	
令和5年度 以降の展開	継続して配置する。	

【障害福祉課】

事業名	児童発達支援センター等における読み聞かせの実施	
事業内容	児童発達支援センター「あすなる学園」等における読み聞かせ事業の実施を推進する。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
令和4年度の実績	新型コロナウイルス感染症が完全に収束してはいなかったものの、マスク・消毒等の感染対策を行いながら、児童発達支援センター「あすなる学園」において、通所児童に対し、絵本等の読み聞かせを行った。	
令和4年度の所感	児童の表情が豊かになるなど良い影響があった。	
令和5年度 以降の展開	新しい生活様式に対応しながら、読み聞かせを実施していく。	

【こども家庭支援室】

事業名	地域子育て支援拠点事業	
事業内容	概ね3歳未満の乳幼児とその保護者が、身近な場所で気軽に集い、相互交流を図ることや、アドバイザー等の育児相談、及び子育て講演会の開催により子育ての負担感の緩和を図り、地域で安心して楽しく子育てができる環境を整備する。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和4年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「親子ふれあい広場」等利用人数:延べ 20,949 人(親子) ・「子育て講演会」参加人数:実数 45 人 	
令和4年度の所感	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度より利用者数が増加しているため、一層各広場において、乳幼児や保護者が自由に絵本を手に取り、親子が一緒に絵本に触れ合える機会を提供していきたい。 	
令和5年度 以降の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の情勢に鑑みながら新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、安心して親子で絵本との触れ合いを楽しむ機会を提供する。広場の利用人数制限・読み聞かせにおいて、飛沫防止対策の徹底。 	

【保育幼稚園課】

事業名	保育園における絵本の読み聞かせ	
事業内容	全園児を対象に公立保育園全園(7園)で毎日実施する。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 4	《乳幼児期における読書活動の推進》 保育園等における取組
令和4年度の実績	園児に対して、毎日絵本の読み聞かせを行い、情操教育を行うことができた。 職員が読み聞かせした絵本を手にするようにした。	
令和4年度の所感	職員が絵本の読み聞かせをしようとすると、楽しみにする表情でそばに寄ってきて、様々な反応を見せていた。 自由時間にも、絵本を読んでもらったり、自分でページをめくり、絵や文字を見て読んだりして楽しんでいました。	
令和5年度以降の展開	感染対策を行いながら、おはなしボランティアによる読み聞かせを再開し、さらに絵本に親しみを持てるようにしていく。	

【児童青少年課】

事業名	プリムローズ管理運営事業・こどもの国管理運営事業	
事業内容	児童センターにおける乳幼児への読み聞かせ ①おはなしの木の読み聞かせ(プリムローズ) ②親と子の楽しい絵本の会(こどもの国) ③青空紙芝居(こどもの国)	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和4年度の実績	①8回実施 親子 27組 56人参加(プリムローズ) ②22回実施 親子 250組 500人参加(こどもの国) ③5回実施 親子80組 160人参加(こどもの国)	
令和4年度の所感	①館全体の利用者数には回復傾向が見られたが、感染症予防対策の緩和により、これまで制限していた他の遊びへ利用者が流れる傾向が強かった。そのため、読書や読み聞かせの参加者が減少した。 ②令和3年度に比べ実施回数、参加者数ともに増加した。 ③コロナ禍ではあったが、広場での開催のため毎回10組を超える参加者が集まった。	
令和5年度以降の展開	感染症予防対策が緩和されていく中で、市の公共施設の方針に沿った形で事業を継続していく。 また、引き続き事業の周知を進めるとともに、参加者の感想等を踏まえた内容の実施を検討する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	ブックスタート事業	
事業内容	親子の触れ合いと赤ちゃんの健やかな成長を願って福祉保健センターで「4 か月児健診」の親子を対象にした、趣旨説明と絵本の読み聞かせ、絵本と絵本紹介冊子「あかちゃんの小箱」の贈呈	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 4 年度の実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、読み聞かせは実施せずに児童書と発行物の配布のみを実施 配布実績 1,103 組 絵本「こぐまちゃんとふうせん」	
令和 4 年度の所感	ブックスタート事業をご存知ない方が多かったため、絵本の配布はとても喜んで頂きました。	
令和 5 年度以降の展開	児童書と発行物の配布を行うとともに、希望者には読み聞かせを実施する計画です。	

事業名	託児付き子育て支援講座 親子で楽しむ絵本の時間	
事業内容	小さいお子様を保育士が預かる託児サービスを付き講座 まだ講座への参加が難しい小さなお子様を保育士に預けて頂き、少し大きいお子様と一緒に絵本の読み聞かせや絵本の別の楽しみ方を体験してもらう親子向けの内容	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 4 年度の実績	実施回数 2 回、延べ参加者 子ども 13 人、大人 12 人	
令和 4 年度の所感	1 回目は絵本や紙芝居の選び方や読み方の講義のあとに、親子で手作り絵本を作るワークショップを開催し、2 回目は絵本の読み聞かせに関する悩み相談のあとに親子で紙コップを使った工作のワークショップを開催しました。 読み聞かせに関するお悩み相談では、お母様の日頃の悩みに対して講師が的確にアドバイスし参加者は非常に満足していました。	
令和 5 年度 以降の展開	令和 5 年度も 2 回の開催を計画しています。	

事業名	おはなしボランティアによるおはなし会の集会事業	
事業内容	<p>①ととけっこの部屋・・・2・3歳児親子を対象とした絵本とわらべうたの読み聞かせ(毎月第1金曜日に実施)</p> <p>②おはなし玉手箱・・・幼児から小学低学年を対象とした絵本の読み聞かせ、おはなしなど(毎週水曜日と第2・3土曜日に実施)</p> <p>③おはなしの部屋・・・概ね5歳児以上を対象としたストーリーテリング(素話)など(毎月第4土曜日に実施)</p>	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 4 年度の実績	<p>①実施回数 12 回、延べ参加者 子ども 60 人 大人 55 人 計 115 人</p> <p>②実施回数 67 回、延べ参加者 子ども 338 人 大人 203 人 計 541 人</p> <p>③実施回数 12 回、延べ参加者 子ども 73 人 大人 28 人 計 101 人</p>	
令和 4 年度の所感	<p>おはなし会の終了後には多くの参加者が読み聞かせで使った本や関連本を借りていくため、自宅での本とのふれあいの機会創出にもつながっています。</p> <p>また、令和 4 年度は新型コロナの感染対策が徐々に緩和されていったこと、そして季節イベントのシーズンにはスペシャルおはなし会を開催したことに伴い、参加人数も令和 3 年度と比較して大幅に増加しました。</p>	
令和 5 年度 以降の展開	<p>①と②は例年通りのスタイルで開催しますが、③は小学校低学年から中学年を対象とした絵本の読み聞かせとストーリーテリングを実施する内容に変更して開催します。</p> <p>また、11 月には 40 周年記念イベントにて、幼児から小学生を対象とした英語のおはなし会も開催する計画です。</p>	

事業名	図書館職員による読み聞かせの実施	
事業内容	おはなし会の開催 各種イベント内での読み聞かせの実施	
該当する施策、方策 (複数選択可) ※網掛け部分は自動 入力	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
令和 4 年度の実績	こわいおはなし会、美笹のおはなし会(公民館まつり)等の開催 各工作会、ぬいぐるみお泊り会における読み聞かせの実施	
令和 4 年度の所感	おはなし会の終了後には多くの参加者が読み聞かせで使用した本や関連本を借りていくため、自宅での本とのふれあいの機会創出にもつながっています。 また、工作会や公民館での読み聞かせへの参加者の中には普段中央図書館に来ない人も含まれていたため、読み聞かせの面白さを感じてもらえたと思います。	
令和 5 年度 以降の展開	令和 5 年度は従来 of 活動に加え、美笹公民館にて毎月おはなし会を開催する計画です。 また、11 月には 40 周年記念イベントにて、幼児から小学生を対象とした英語のおはなし会も開催する計画です。	

事業名	みどりパルたんけん隊	
事業内容	彩湖自然学習センターを使った、図鑑等の図書を通じた調査と動植物の実物の観察体験	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
令和4年度の実績	実施回数 1回、延べ参加者 子ども 1人、大人 1人	
令和4年度の所感	<p>彩湖自然学習センターを会場に、展示している動植物についてセンタースタッフに説明して頂いた後に図鑑・資料で確認するという作業を行いました。</p> <p>参加者の身の回りの自然についての理解・知識の深化が、今後の学習に活かされることを期待しています。</p> <p>尚、参加者が親子 1組だったことは今後の課題であり、小学生に興味を持ってもらうテーマ・プログラム作りを検討したいと考えています。</p>	
令和5年度以降の展開	令和 5 年度は中央図書館を会場にして 11 月に開催予定です。	

事業名	図鑑名人になろう！/ ギモンのしらべ方	
事業内容	小学校1年生以上の利用者を対象に、図鑑を使ってクイズを解いてもらう講座	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
	施策 2/方策 3	《小学生期における読書活動の推進》 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～
令和 4 年度の実績	実施回数 5回、延べ参加者 子ども 30 人、大人 23 人	
令和 4 年度の所感	参加した小学生にはクイズ問題(「動物」「植物」「魚」など)の答えを、図鑑を使って導き出す経験をしてもらい、図鑑の内容の理解、図鑑の使い方を理解してもらえました。 今後の課題に対する取り組み方が変わるのではと期待しています。	
令和 5 年度 以降の展開	令和 5 年度も実施する予定です。	

事業名	図書館を使った調べる学習講座	
事業内容	小学生が自分の興味や関心のあるテーマについて、図書館を活用して調べ自ら学び考える学習方法を学ぶ講座	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
	施策 2/方策 3	《小学生期における読書活動の推進》 小学校高学年 ～読み続けたい本を探す～
令和 4 年度の実績	実施回数 2 回、延べ参加者 子ども 30 人、大人 30 人	
令和 4 年度の所感	参加者には講師が設定した「ハチ」をテーマに、調べる内容の決め方、仮説作り、調査する資料や答えのまとめ方を、実際にワークショップ形式の中で体験してもらいました。講師は戸田市の小学生のレベルの高さに感心していました。	
令和 5 年度以降の展開	令和 5 年度も実施する予定です。	

事業名	本の POP 展示	
事業内容	笹目中の図書委員が作った本の POP の展示	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 3/方策 1	《中学・高校生期における読書活動の推進》 本に親しむ機会の提供
	施策 3/方策 2	《中学・高校生期における読書活動の推進》 学校図書館・市立図書館の利用の促進
令和 4 年度の実績	中央図書館 1 階閲覧室内に約 1 ヶ月間展示	
令和 4 年度の所感	若者らしい素直な紹介文で POP が作られていて、どれも読んでみたくなる作品が多く、実際に展示期間中は紹介された本の貸出が後を立ちませんでした。	
令和 5 年度以降の展開	令和 5 年度も継続して実施する予定です。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	赤ちゃんおはなし会	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児(0～3歳)を対象とした絵本・紙芝居の読み聞かせ、手遊び。 ・親子が一緒になって絵本に触れ、楽しむ時間を提供する。 ・毎週金曜日(※第4を除く)に実施。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策1/方策1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策1/方策2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策1/方策3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和4年度の実績	延べ回数 38回、延べ参加者数 281人	
令和4年度の所感	今年度から毎週開催となり、週ごとに新たな顔ぶれが見られるようになった。大型絵本や手遊びなどのプログラムが好評で、子どもだけでなく保護者も一緒に楽しめていた。	
令和5年度以降の展開	引き続き毎週開催とし、ロングセラー絵本の紹介や、手遊びのバリエーションを増やすなど、参加者が興味を持つプログラムを組んでいく。	

事業名	パルシアターとかみとだおはなし会	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児～小学校低学年を対象とした絵本・紙芝居の読み聞かせをする。その後、映画上映会を行う。 ・親子が一緒になって絵本に触れ、楽しむ時間を提供する。 ・毎月第1日曜開催。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策1/方策2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策1/方策3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策2/方策1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年～本を楽しむ～
令和4年度の実績	延べ回数 13回、延べ参加者数 137人	
令和4年度の所感	昨年度毎週火曜日に開催していた「かみとだおはなし会未就学児向け」を取りやめ、親子で映画や関連のある絵本を楽しんでいただけるよう、映画上映会と併せた形で開催した。絵本や手遊びをしながらの映画観賞という一連のプログラムを楽しんでいただけた。	
令和5年度以降の展開	広報戸田やミニコミ誌の告知だけでなく、配布を停止していた映画チケットの配布再開を検討し、参加人数の増加に努める。	

事業名	おうちで絵本ひろば	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本講師が年齢に沿った絵本の選び方や絵本を通じた子育ての楽しさ等を伝える。 ・奇数月第4土曜日に実施。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策1/方策1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策1/方策3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和4年度の実績	延べ回数 6回、延べ参加者数 11人	
令和4年度の所感	講師の都合により、今年度から図書館職員が引き継いで担当している。子どもの年齢にあった絵本の楽しみ方を伝え、保護者の読み聞かせに対する不安を解消できた。	
令和5年度以降の展開	より多くの方にご参加いただけるよう、チラシだけでなくSNS等で広く発信していく。	

事業名	かみとだおはなし会(未就学児～小学校低学年向け)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児～小学校低学年を対象とした絵本・紙芝居の読み聞かせ。絵本のテーマに関連したおりがみなどの工作。 ・親子が一緒になって絵本に触れ、楽しむ時間を提供する。 ・毎月第3日曜日に開催。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年～本を楽しむ～
令和4年度の実績	延べ回数 9回、延べ参加者数 29人	
令和4年度の所感	昨年度までの「かみとだおはなし会小学生向け」の対象幅を広げ、開催時間も一時間に延長した。後半には、紹介した絵本や時節に関連のあるおりがみ工作を行い、親子や兄弟での参加が見られた。	
令和5年度 以降の展開	幅広い年齢に楽しんでいただけるようなプログラムを、ボランティアと共に考えて提供していく。	

事業名	ぬいぐるみおとまり会	
事業内容	子どものぬいぐるみを預かり、閉館後の上戸田地域交流センター探検や仕事体験をする様子を写真に収め、おすすめの絵本紹介と共にぬいぐるみに添えてお返りする。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 4 年度の実績	延べ回数 2 回、延べ参加者数 24 人	
令和 4 年度の所感	3 歳から小学校低学年まで幅広く参加していただけた。ぬいぐるみを迎えに来た際、参加者全員が絵本を借り、中にはぬいぐるみに読み聞かせをする姿もあった。子どもたちだけでなく、保護者にもよい体験だったと好評だった。	
令和 5 年度 以降の展開	今後もぬいぐるみを通して、絵本や図書館に関心を持っていただけるような企画を続けていく。	

事業名	めざせ図鑑マスター	
事業内容	紙芝居『本ってどうやってつかうの？(目次と索引)』で図鑑の使い方を知った後、自分の好きなジャンルのクイズを選び、図鑑を使って答えを調べる。調べた答えと気になったところを用紙に記録し、自分だけの図鑑を作成する。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
令和 4 年度の実績	延べ回数 2 回、延べ参加者数 13 人	
令和 4 年度の所感	子どもたちの調べ学習を支援する取り組みの一環として行っている。今回は作成した問題に難易度を設定し、レベルを自分で選択して取り組んでもらった。高学年は自ら高難度の問題に挑戦し、調べ学習に対する意欲が高まっていた。	
令和 5 年度以降の展開	上戸田地域交流センターの子ども向け事業等で周知し、参加者の増加に努める。また、グループ学習室の紹介も行い、グループ学習室の利用促進も図る。	

事業名	○△□のひみつ～マークにかくされたおやくそく～	
事業内容	行政書士を講師に招き、子ども向け法セミナーを開催。身近にあるリサイクルマークを通し、なぜ同じマークがあるのか、マークの意味についてを学ぶ。法的な考え方を身につける機会提供と、調査の手段の一つとして図書館の活用を促す。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《小学生期における読書活動の推進》 小学校低学年 ～本を楽しむ～
令和 4 年度の実績	延べ回数 1 回、延べ参加者数 7 人	
令和 4 年度の所感	積極的に質問する子どもが多く、真剣に取り組んでいた。また関連図書の展示も行い、4 冊貸出があった。講座を通してテーマに興味を持ってもらい、図書貸出につながった。	
令和 5 年度以降の展開	今後も行政書士と連携をし、低学年向けにわかりやすいテーマで開催していく。	

事業名	ちびっこ一日図書館員	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の仕事体験を通し、図書館や本への理解を深める。 ・生涯にわたって図書館を利用してもらうためのきっかけづくりとする。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 2	《小学生期における読書活動の推進》 小学校中学年 ～いろいろな本に出会う～
令和 4 年度の実績	延べ回数 2 回、延べ参加者数 6 人	
令和 4 年度の所感	本のブッカーかけや、資料の在架確保等、実際に図書館で行われている業務を体験していただき、好評だった。在架確保は最初迷っている様子だったが、職員がラベルの見方や場所を教えると自ら探しに行くようになり、達成感を得られていた。	
令和 5 年度 以降の展開	職業体験を通して図書館に関心をもってもらうだけでなく、今後図書館を活用したくなるよう、プログラムも随時工夫していく。	

事業名	みんなでパルるんひろば	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児(0～3 歳児)を対象とした絵本の読み聞かせ、手遊び、歌。 ・後半は保護者同士、ボランティアとの交流時間。 ・毎月第 4 金曜開催。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 4 年度の実績	延べ回数 12 回、延べ参加者 84 人	
令和 4 年度の所感	職員とボランティア、保健師で開催した。上戸田地域交流センターとの共催で、前半は未就園児を対象としたおはなし会、後半はボランティアや他参加者との交流や、保健師へ育児の相談ができる時間とした。大型絵本や手遊びが好評で、保健師への相談も気軽にできる環境となった。	
令和 5 年度 以降の展開	当日受付制とし、気軽に参加していただけるよう周知を行う。新型コロナウイルス感染症に関する対策に留意しつつ、定員等も適宜見直しを行う。	

事業名	おはなしのバスケット	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳～未就学児を対象とした絵本・紙芝居の読み聞かせ、手遊び。 ・上戸田地域交流センター窓口で貸出を行っているおもちゃメニューの一つで、申込があったら図書館職員がキッズスペースに出向き、個別対応で読み聞かせを行う。 ・親子が一緒になって絵本に触れ、楽しむ時間を提供する。 ・毎週火曜日・金曜日の14時～16時に実施。1回約15分。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策1/方策1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策1/方策2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策1/方策3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和4年度の実績	延べ開催 68回、延べ参加数 210人	
令和4年度の所感	図書館の定期開催しているイベントに参加できない方々にも、参加していただくことができた。また、個別対応のため子どものペースに合わせてプログラムを組んだり、変更することができ、保護者にとっても安心して参加いただけているようだった。	
令和5年度以降の展開	館内配布のチラシや子ども向け講座などでの周知を図っていく。	

事業名	「心もカラダも元気に！親子ふれあいヨガ AB」ミニおはなし会	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・上戸田地域交流センターの開催事業内で絵本の読み聞かせを行う。 ・「心もカラダも元気に！親子ふれあいヨガ」冒頭 10 分間で実施。A コースは 6 ヶ月～1 歳3ヶ月対象、B コースは1歳～未就園児対象。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との出会い
	施策 1/方策 2	《乳幼児期における読書活動の推進》 本との触れ合い
	施策 1/方策 3	《乳幼児期における読書活動の推進》 親子で本を楽しむ
令和 4 年度の実績	延べ開催 44 回、延べ参加数 394 人	
令和 4 年度の所感	センター内事業で行うことで、図書館に来館した事のない方にも絵本や読み聞かせに触れる機会を提供できた。	
令和 5 年度以降の展開	引き続き、上戸田地域交流センターと連携して開催する。10 分間という短い時間でも、気持ちがリラックスし、親子や参加者同士の交流が促進できるようなプログラムを提供していく。	

基本方針 2 読書環境の整備・充実

子どもが読書に親しむためには、読書や本を楽しむための環境が整っていないければなりません。そのためには、図書館だけでなく、子どもの生活に関わる施設等において、図書館の計画的な整備といった、子どもの読書活動の場として好ましい環境にするための働きかけが必要です。また、障害のあるなし等に関わらず、すべての子どもたちに読書に親しんでもらうため、積極的な働きかけが必要です。

(1) 施策 1 家庭・地域の読書環境の整備・充実

子どもの読書を習慣付け、継続的なものとするためには、家庭や地域の身近な場所で本を手にとることができる環境作りが必要です。そのためには、市立図書館にある本を、子どもの身近な場所に貸し出すなどの支援を行い、誰もが本と親しむことができる読書環境の整備に努めます。

●方策 1 団体貸出の拡充

市立図書館では小・中学校、幼稚園、保育園、学童等の子どもと密接に関わる団体に対し積極的に本の貸出しを実施し、読書環境の充実を図ります。

(2) 施策 2 市立図書館における読書環境の整備・充実

市立図書館は、子どもが本と出会い、本と触れ合い、読書を楽しむことができる魅力的な場となるよう、児童書の充実のほか、本が探しやすい、親しみやすい環境作りに努めます。

●方策 1 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実

市立図書館の児童コーナーの充実を図るほか、表示や展示、レイアウトに工夫を凝らすなど、探しやすい見つけやすい書架作りを行い、子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実を図ります。

●方策 2 特別な支援が必要な子どもへの取り組み

障害のある子どもや外国語圏の子ども等、読書活動をするうえで、特別な支援が必要な子どもに向けての多様な資料収集、提供に努めます。

(3) 施策3 学校図書館における読書環境の整備・充実

学校図書館は、子どもが本と出会い、本と触れ合い、読書を楽しむことができる魅力的な場となるよう、児童書の充実のほか、本が探しやすい、親しみやすい環境作りに努めます。

●方策1 学校図書館の活用のための環境の整備・充実

市内小学校及び中学校に配置されている本好きサポーターが各校の司書教諭と連携し、学校図書館の資料の充実、環境整備、授業等での積極的利用の促進を図るとともに、児童・生徒に対して読書の推奨、本の紹介、調べ方の案内等を積極的に行い、子どもや教職員にとって本を探しやすく、利用しやすい環境作りに取り組みます。

●方策2 学校図書館・市立図書館の連携による環境の整備・充実

市立図書館は、学校図書館の運営や図書に関する様々な相談、学校図書館の環境改善に向けたアドバイスや、図書の定期的な貸出しの実施等に努め、学校図書館と市立図書館との積極的な連携によって学校図書館の環境整備と充実を図ります。

【教育政策室】

事業名	本好きサポーター(戸田市学校図書館図書整理員)の配置	
事業内容	市内各小・中学校に本好きサポーターを配置する。司書教諭と連携して、図書の管理や整理、読書活動の充実を図る。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 3/方策 1	《学校図書館における読書環境の整備・充実》 学校図書館の活用のための環境の整備・充実
令和4年度の実績	市内各小・中学校、全18校に1名ずつ配置。	
令和4年度の所感	本好きサポーターの配置により、おすすめの図書や入荷した図書の紹介等を載せた便りを発行や配信をしたり、児童生徒の委員会活動を支援したりして、学校図書館の充実を図っている。また、学習内容や学校行事、時事等に応じたコーナーを設け、学校行事や授業等で活用しやすい学校図書館になっている。	
令和5年度 以降の展開	継続して配置する。	

【保育幼稚園課】

事業名	絵本の貸し出し	
事業内容	年齢にあった絵本の紹介を行う。 保育園で年齢にあった絵本を整備し、貸し出しを行う。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《家庭・地域の読書環境の整備・充実》 団体貸出の拡充
令和4年度の実績	絵本の貸し出しは実施できなかったが、年齢にあった絵本の紹介をしたり、その日に読んだ絵本を掲示したりし、保護者に興味関心が持てる取り組みを実施した。	
令和4年度の所感	子ども達は、読んでもらった絵本を言葉や仕草で保護者に伝え、保護者は我が子や同じクラスの子どもの様子を見て、絵本について知っていくようであった。	
令和5年度 以降の展開	感染防止に努めながら、絵本の貸し出し等を再開していけるよう工夫していきたい。	

【児童青少年課】

事業名	プリムローズ管理運営事業・こどもの国管理運営事業	
事業内容	児童図書の充実	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《家庭・地域の読書環境の整備・充実》 団体貸出の拡充
令和4年度の実績	幅広い世代を対象にした各種図書の購入や、利用者からの寄付により、蔵書が増えた。	
令和4年度の所感	随時児童センターにて購入した。また、利用者からの寄付による増加もあったが、タイトルの重複などもあった。	
令和5年度 以降の展開	これまで同様に蔵書の充実を図っていくとともに、図書の配置について、子ども達が選びやすい配置を検討する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	学校への団体貸出	
事業内容	子どもの読書活動推進や調べ学習のための、市内小中学校への図書館資料の貸出	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策1/方策1	《家庭・地域の読書環境の整備・充実》 団体貸出の拡充
	施策3/方策2	《学校図書館における読書環境の整備・充実》 学校図書館・市立図書館の連携による環境の整備・充実
令和4年度の実績	小学校 6校 151件 4,356冊	
令和4年度の所感	令和4年度は5月に9校ずつ2回の事前説明会を行い、また別途学校を訪問して手続きの説明をしたため利用促進が図れました。	
令和5年度 以降の展開	令和5年度は説明会はいませんが、団体貸出は継続して実施する計画です。	

事業名	出前授業	
事業内容	I-6 図書館でどんなところ I-7 図鑑名人になろう I-10 本の修理講座 I-11 NDC を使いこなそう I-12 ブックトーク	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 3/方策 1	《学校図書館における読書環境の整備・充実》 学校図書館の活用のための環境の整備・充実
	施策 3/方策 2	《学校図書館における読書環境の整備・充実》 学校図書館・市立図書館の連携による環境の 整備・充実
令和 4 年度の実績	図書館でどんなところ： 笹目東小、芦原小、新曾中 ※蕨西小 図鑑名人になろう： いっぱ 本の修理講座： 本好きサポーター NDC を使いこなそう： 戸二小 ブックトーク： 新曾北小、新曾小、喜沢中、いっぱい	
令和4年度の所感	出前授業を通じて本の探し方や図書館の活用方法について理解してもらい、またブックトークでは多くの本に興味を持ってもらったと感じている。	
令和 5 年度 以降の展開	令和5年度も継続して実施する計画です。	

事業名	読書環境の整備・充実	
事業内容	月間展示企画、3カ月単位の季節展示企画、7-8月夏期特別展示企画、その他児童本のテーマ展示の実施 読み聞かせコーナーの飾りつけ(毎月) 児童向け特集コーナー、YAコーナーの設置	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実
令和4年度の実績	児童企画展示 20 企画 YA 企画展示 4 企画 読み聞かせコーナーの飾りつけ 6 回 児童向け企画コーナー 2箇所(むかしばなし、コールデコット賞作品) YAコーナー設置 1箇所 正面ロビーでの原画展	
令和4年度の所感	季節や社会の動きに応じたタイムリーな企画展示を行うことによって児童や中高生が興味をもって本に触れる機会を増やすことができました。 また、正面ロビーにて児童/中高生に人気の作家の原画展を開催し、本に興味を持つ環境を作りました。	
令和5年度以降の展開	企画展示は継続して実施する予定です。 また、正面ロビーでは4月-12月まで原画展/パネル展を開催し様々な層の方が本に興味を持つ環境作りを行います。	

事業名	読書バリアフリーの推進	
事業内容	バリアフリーコーナーの設置と広報活動 デジタルアーカイブの開設 電子図書館の充実	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 2/方策 1	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実
	施策 2/方策 3	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 特別な支援が必要な子どもへの取り組み
令和 4 年度の実績	バリアフリーコーナーの新規設置と広報とだ 12 月号への掲載 デジタルアーカイブ開設と戸田市史ある記マップ・パスファインダーの掲載 電子図書館の本の充実と読み放題パックの導入	
令和4年度の所感	バリアフリーコーナーは今後も継続的に拡充していくことが必要と感じました。 また、電子図書館は読み放題パックの導入したことにより利用者が増えました。	
令和 5 年度 以降の展開	バリアフリーサービスはサピエの導入、および資料の充実とコーナーの見直しを図る予定です。 また、電子図書館の読み放題パックは今後も継続して実施する計画です。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	絵本コーナー及び児童コーナーでの資料展示	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本コーナーでは時節に合わせた本の紹介を通して、新しい本との出会いや読書の幅を広げていただくきっかけをつくる。 ・児童コーナーでは「SDGs」を主題とし、各目標に関わるテーマで資料を展示することで、学校での学びにも関わる視点から本と出会うきっかけをつくる。 	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 1	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 子ども目線の読書環境・学習環境の整備・充実
令和 4 年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本コーナー：年間 8 テーマで展示を実施。 ・児童コーナー：年間 10 テーマで展示を実施。 	
令和 4 年度の所感	<p>絵本コーナーでは、大人も子どもも手に取りやすいテーマを展開し、期間中に何度も足を運んでいただくことができた。</p> <p>児童コーナーでは、ニュースや時事で話題のテーマを取り入れ、関心を高められるよう展示した。</p>	
令和 5 年度 以降の展開	引き続き、利用者に興味を持っていただけるよう、様々なテーマで特集展示に取り組んでいく。	

事業名	リーディングトラック・リーディングルーラーの貸出	
事業内容	読書補助器具の貸出	
該当する施策、方策 （複数選択可）	施策 2/方策 2	《市立図書館における読書環境の整備・充実》 特別な支援が必要な子どもへの取り組み
令和 4 年度の実績	2023 年 2 月 11 日 貸出回数 1 回	
令和 4 年度の所感	<p>昨年の 3 月から利用・貸出を行っているが、市民に広く知られていないようだった。利用者からは「こういったものがあると知らなかった。どこで買えるのか？」と関心を持っていただけた。</p>	
令和 5 年度 以降の展開	今後も必要としている方に使っていただけるよう、より周知に努める。	

基本方針 3 読書活動の普及・啓発

子どもの読書活動の推進のためには、身近な大人が様々な読書活動を知り、読書の意義について理解と関心を深めることにより、子どもの読書意欲を高め、読書習慣につながっていくと考えられることから、読書に関する様々な取組や情報について広く市民に周知を図ります。

(1) 施策 1 読書活動の普及・啓発の推進

子どもの読書活動を推進するため、子どもと保護者だけでなく多くの市民に読書の大切さを知ってもらえるよう、読書に関する様々な取組や情報を積極的に収集・発信し、広く周知に努めます。

●方策 1 読書活動の普及・啓発活動

子どもの読書に関する事業の展開、読書感想文の取組への啓発、学校図書館、市立図書館の活動を広く周知すること等により、市民への子どもの読書活動の意義についての普及・啓発に取り組みます。

●方策 2 読書活動を推進するための広報・情報発信

広報戸田市、教育広報とだ、図書館報等の広報誌、ホームページやSNSを利用した本の紹介など、子どもの読書活動に関する地域の情報等を積極的に収集し、広く情報発信に取り組みます。

【保育幼稚園課】

事業名	日常の保育や行事等での読書活動の推進	
事業内容	季節や行事、子どもの興味に合わせて、絵本の読み聞かせを行う。様々な表現方法からお話に興味を持ち、絵本への興味を引き出す。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
令和 4 年度の実績	職員が、子ども達に劇ごっこやパネルシアター等でお話を表現し、子ども達がお話に興味を持ち、自ら絵本や物語を手にする子どもが増えた。 年齢、発達に合わせた絵本を購入した。	
令和 4 年度の所感	「そのお話してるよ」「先生、〇〇してたよね」など、子ども達が興味を持つきっかけ作りになっていた。大事に絵本を扱うことが基本ではあるが、たくさんの子ども達が手にすることで、やはり消耗品でもあることを感じた。	
令和 5 年度 以降の展開	今後も、様々な方法で絵本などに興味を持てるようにしていく。 計画的に絵本の購入を進めていく。	

【児童青少年課】

事業名	プリムローズ管理運営事業・こどもの国管理運営事業	
事業内容	図書無料閲覧	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和4年度の実績	来館者に対して無料で蔵書を閲覧に供した。	
令和4年度の所感	各児童館の図書コーナーで無料で閲覧できるが、新型コロナウイルス対策のため各児童館では消毒時間を設けており、その間、利用者はいったん館外に出ることとなり、連続しての読書がしづらい環境となっている。	
令和5年度 以降の展開	これまで同様、無料閲覧できる図書の充実を図り、新刊本の紹介などを実施する。 また、コロナ禍以前に実施していた館外貸出の再開を検討する。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	児童書の周知、啓発のための広報活動	
事業内容	①児童向け図書館報「わいわいだより」 ②テーマを決めた児童書の紹介「ブックリぼこ」 ③小学校1年生向き図書を紹介冊子「おめでとう！いちねんせい」 ④赤ちゃん絵本のリスト「あかちゃんの小箱」 ⑤マタニティ向け絵本リスト「マタニティママと赤ちゃんの小箱」 ⑥中央の新着児童書の一部を紹介するリスト「新しい絵本のリスト」	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和 4 年度の実績	①年 2 回発行 ②年 4 回発行 ③年1回発行(4月、市内小学校新1年生全児童に配布) ④ブックスタート実施時に配布。随時発行 ⑤母子健康手帳発行時に配布。随時発行 ⑥年6回(偶数月)発行	
令和 4 年度の所感	各種活動を通じて、おすすめする本を表紙と紹介文入りで取り上げることにより、児童が本を読むきっかけを作ることができ、また市民の皆様へは読み聞かせの意義や読書の素晴らしさを伝えることができました。	
令和 5 年度以降の展開	令和 5 年度も継続して実施する予定です。	

事業名	子供向けの集会行事等の周知	
事業内容	集会行事の案内「イベント案内」の作成・配布	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和4年度の実績	発行部数 1,200 部	
令和 4 年度の所感	各種企画、イベント、サービスの告知に努め、親子や児童が図書館に来館するきっかけ作りを行いました。	
令和 5 年度 以降の展開	令和 5 年度は冊子を廃止し、ホームページ/デジタルサイネージ/SNS の告知充実を図ります。	

事業名	戸田市子供読書手帳の配布	
事業内容	平成 28 年 4 月から行っている、A5 サイズの読書手帳の配布 50 冊分記録できて、感想や満足度も記入できるもの 利用者が 20 冊と 40 冊を記録した手帳を提示した際には記念 スタンプを押印し、50 冊を記録した手帳を提示した際には裏 表紙の達成証に押印	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和 4 年度の実績	配布実績 710 冊 押印実績 20 冊 71 人 40 冊 58 人 50 冊 68 人 合計 197 人	
令和 4 年度の所感	本をたくさん読むモチベーションにつながるという声、また読書の記録ができて良いという声をお聞きしています。	
令和 5 年度 以降の展開	令和5年度も継続して実施する計画です。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	戸田第一小学校 3 年生によるおすすめ本の POP 展示	
事業内容	戸田第一小学校の課題解決型学習への連携・協力として、作成物の展示・発表の場を設けることで、生徒の学習意欲促進や図書館利用促進につなげる。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動の普及・啓発活動
令和 4 年度の実績	期間:2022 年 12 月 15 日~2023 年 1 月 15 日 2023 年 2 月 17 日~2023 年 3 月 8 日	
令和 4 年度の所感	生徒の自主的な活動を支援し、地域の方の目に触れる形で展示したことで、生徒たちの自信や意欲向上につながっていた。また、展示について興味をもった同小学校生徒が来館し、図書館の利用促進にもなった。	
令和 5 年度 以降の展開	今後も地域の小学校と連携を図りつつ、子どもたちや地域の方たちが読書に触れる機会を提供していく。	

事業名	ミニコミ誌や SNS を使った情報発信	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 3,000 部のミニコミ誌を発行し、本の紹介や行事の案内等、図書館情報を発信する。 ・SNS を活用し、館内の資料展示や開催事業の告知を行う。 	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《読書活動の普及・啓発の推進》 読書活動を推進するための広報・情報発信
令和 4 年度の実績	ミニコミ誌:年間 36,000 部発行	
令和 4 年度の所感	図書館の利用案内や開催行事、書籍紹介や郷土資料の連載記事など図書館や読書を身近に親しみやすく感じられる情報を掲載している。	
令和 5 年度 以降の展開	ミニコミ誌は今後も毎月 3,000 部発行していく。SNS では来館者の興味関心を引けるような情報を提供していく。	

基本方針 4 読書活動の推進体制の整備

子どもの読書活動を推進するためには、社会全体で総合的に推進しなくてはなりません。そのためには、家庭、地域及び学校をはじめとする子どもの生活を形成する関係機関が相互に連携・協力することが大切です。また、読書活動の推進を担う人材の連携・協力だけでなく、本や子どもの発達段階における特性など専門知識や技能などの資質向上も必要となります。これを踏まえ、連携や協力による新たな取り組みの創出や情報交換・共有を行うために、関係機関から形成する総合的な推進体制を整備していきます。

(1) 施策 1 読書活動に携わる人材の育成と支援

読書活動に携わる人材の資質向上を図り、情報や課題の共有、また、他の図書館などの関係機関や子どもの読書に関わる地域の団体等との連携に努めます。

●方策 1 読書活動に携わる人材の育成と支援

子どもの読書活動に携わる人材を育成するためには、教職員や本好きサポーター、図書館職員等への研修の機会の充実に努めるとともに、連携会議の実施により、課題の把握や情報共有を進め、図書館司書による学校図書館の活動支援に取り組みます。

●方策 2 ボランティアや関係機関・団体との連携

読み聞かせなどの活動を活発化させるため、ボランティアの資質向上を支援し、連携・協力するほか、各種活動の紹介などにより、関係機関や子どもの読書活動に関わる地域の団体との連携や情報の共有を図ります。

【教育政策室】

事業名	本好きサポーター(戸田市学校図書館図書整理員)の配置	
事業内容	市内各小・中学校に本好きサポーターを配置する。司書教諭と連携して、図書の管理や整理、読書活動の充実を図る。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 読書活動に携わる人材の育成と支援
令和4年度の実績	市内各小・中学校、全18校に1名ずつ配置。	
令和4年度の所感	4月、8月、1月に本好きサポーター研修会を実施し、そのうち2回は出前講座を依頼し、ブッカーかけや本の修理について研修を行った。今後も、新たな取組の検討や各校の取組の共有、本好きサポーターの資質向上を目指した研修会の実施が必要である。	
令和5年度 以降の展開	継続して配置する。	

【保育幼稚園課】

事業名	おはなし会	
事業内容	4, 5歳児を対象に公立保育園全園(7園)で毎月1回実施	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 ボランティアや関係機関・団体との連携
令和4年度の実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
令和4年度の所感	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
令和5年度 以降の展開	感染対策をしながら、ボランティアによる「おはなし会」を再開し、日常の職員以外からの読み聞かせを楽しめるようにしていく。	

【図書館（中央図書館）】

事業名	おはなしボランティア養成講座の開催	
事業内容	おはなし会の集会事業に協力いただけるボランティアの育成と既に参加されているボランティアのスキルアップのための講座	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 読書活動に携わる人材の育成と支援
	施策 1/方策 2	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 ボランティアや関係機関・団体との連携
令和 4 年度の実績	初心者向け 4 回（市民大学講座） 経験者向け 2 回 合計 6 回開催	
令和 4 年度の所感	<p>初心者向けの講座は、市民大学講座として広く参加者を募集し、内容は基本となる絵本の選び方と読み聞かせのポイント、読み聞かせの意義や具体的なプログラム作りなど、これから読み聞かせに取り組む人向けにととても参考になる内容のものでした。</p> <p>また、経験者向けの講座はストーリーテリングの素材となるお話選び、覚え方の講義のあと、実際に実演して講評を受けるという実践的な内容のもので、実践者のスキルアップにつながる内容でした。</p>	
令和 5 年度 以降の展開	初心者向け 5 回（市民大学講座）、経験者向け 1 回の計 6 回開催します。	

【図書館（上戸田分館）】

事業名	絵本の読み方講座	
事業内容	幼稚園教諭に向けた絵本講座を開催し、子どもたちへの読書推進につなげる。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 1	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 読書活動に携わる人材の育成と支援
令和 4 年度の実績	戸田第一幼稚園の幼稚園教諭 15 名に実施。	
令和 4 年度の所感	絵本の選び方や効果的な読み方について、幼稚園教諭の読み聞かせに対する意識啓発になった。	
令和 5 年度 以降の展開	子どもの読書活動に関わる人材への支援として、今後も依頼があれば対応していく。	

事業名	あいパルサポーターズ倶楽部個人会員	
事業内容	上戸田地域交流センターを活動場所とし、地域コミュニティ活動の推進や交流の活性化を図るため、得意なことや興味のある分野で施設運営のサポートに協力いただく。	
該当する施策、方策 (複数選択可)	施策 1/方策 2	《読書活動に携わる人材の育成と支援》 ボランティアや関係機関・団体との連携
令和 4 年度の実績	活動会員(図書館事業):5 名 ボランティア累計参加者数:100 名	
令和 4 年度の所感	おはなし会によるボランティア活動の場を提供した。対象年齢にあわせてボランティアはそれぞれ絵本や紙芝居を選び、子どもだけでなく親も楽しめるよう声をかけて場を盛り上げていた。	
令和 5 年度 以降の展開	参加者獲得のため、幅広い世代に楽しんでもらえるプログラムを考えるなど、引き続きボランティアと協力して運営していく。	